

編集後記

本年3月23日に、卒業25周年の卒業式招待および118三田会の記念式典に参加致しました。入学以来29年の歳月の流れを痛感するとともに、時の流れの速さに感慨を覚えた一日でした。

当部も創立60周年。

大きな節目であった50周年の記念式典を、全日空ホテルにて開催したのが、まるで昨日の様に思われます。

この10年間、当部をめぐる環境も、現役には「更なる入学難」「藤沢・日吉の移動の問題」「部員数の極小化」等に直面し、またOBの方々にもリストラを始めとする「終身雇用の崩壊」「年金制度の先行き不安」等不安要素が拮がりつつあるまさに激変の時代となりました。

今般、60周年記念誌を発刊するにあたり、

- 1 「この10年間に特に焦点をあて、この間の卒業生に各年次1人は寄稿して頂くことにより、この10年を振り返る。」
- 2 「遠くは100周年を見据え、10年のデータベースを作成する。」

この2点を最重点として考えました。

この狙い通りにできているかどうかはご評価願いますようよろしくお願い致します。

冒頭触れさせて戴きました「118三田会のレセプション」にて、我々の同級生の中で、数十名の物故者の名簿を目の当たりにした時、「彼らの分まで頑張ろう」と思いを新たに致しました。

当部においても監督を歴任された「吹野先輩」「岡本先輩」「金原(大島)先輩」をはじめとする方々を亡くしており、この場を借りて改めてご冥福をお祈りしたいと存じます。

最後に、ご多忙中のところ寄稿戴きましたOB各位に厚く御礼申し上げます。今後、更に当部の発展を祈念するとともに 70 周年そして100周年に向け何らかのお役に立ちましたら幸いと存じます。

編集委員 昭和52年卒 細田 仁

ご参画頂いた常任幹事および編集委員

中村頼人(昭和 31年卒)、吉田格磨(昭和 32 年卒)、鈴木嘉明(昭和 32 年卒)、大澤恵子(昭和 35 年卒)、三上義直(昭和 35 年卒)、小杉良雄(昭和 36 年卒)、瀬戸征二(昭和 36 年卒)、渡辺輝久(昭和 38 年卒)、大嶋研一(昭和 40 年卒)、山本洋彦(昭和 41 年卒)、平井克英(昭和 45 年卒)、笹岡和彦(昭和 51 年卒)、梶田敏夫(昭和 52 年卒)、森下一夫(昭和 54 年卒)、草場律(昭和 60 年卒)、池田登志子(昭和 60 年卒)、米谷香里(平成 12 年卒)、金丸敦(平成 14 年卒)、永島由紀子(現役主務)、朽見太郎(現役副務) 以上名簿順による

常任委員会および編集委員会風景



[瀬戸、中村、三上、永島、笹岡]



[渡辺、鈴木、瀬戸、中村]



[笹岡、金丸、吉田、草場、細田、大嶋]



[大嶋、小杉、平井、渡辺、鈴木、瀬戸]



[三上、永島、笹岡、金丸、吉田]